

「田舎暮らし駒ヶ根推進協議会」ニュース

第4号

平成23年11月1日発行

田舎暮らしに思う

リレーエッセイ vol. 1

～Iターン歴10年で思うこと～

太田真弓

プロフィール/平成12年にご主人と関西よりIターン
優雅なスローライフを満喫中

移住して間もなく、Iターンの先輩が“一緒に米作りをしましょう”と誘ってくれました。地元の方に教えてもらいながら、できるだけ手作業でやりたいという方針でした。教わったとおりに苗を3本くらい数えて植えていると“そんなに遅いと日がくれちゃうぞ!”と笑われてしまいました。稲のはぎかけの作業では稲束を無理してたくさん運んでいるうちに、足元がふらついてしまう有様でした。昼食時には、おやき、漬け物、きなおはぎ等たくさん差し入れてもらいました。私たちには珍しい食べ物ばかりで美味しく、作り方を教えてもらいながらの楽しい一時でした。収穫祭では生まれて初めて作ったお米を食べ、あまりのおいしさに喜びがあふれました。でも3回の草取りはちょっときつかったかな…。その後も米作りを続けていますが、今年は新しいIターンの人ばかりで田植えをしたので、田んぼで尻もちをついた人もいたり賑やかな作業になりました。振り返ると移住した2000年は何十年ぶりの大雪で気温もマイナス13度の日が続きました。あこがれの古民家に住みましたが、寒さに慣れていないためいろいろと驚きの連続でした。生け花の水が凍りついたり、廊下の凍ったガラス戸をお湯で絞った雑布で拭いたところ、またすぐ凍ってしまい思わず笑ってしまいました。その上初めて自分で育てた野菜も凍らせてしまい残念でしたが、今では全て懐かしい思い出になりました。現在は少し離れた地域に住んでいますが、当時お世話になった方々とは今もお付き合いがあり、やはりいろいろと教えていただいています。手作りの米・野菜・みそ・ジャム・パンが食卓に並ぶ今の生活に大変満足しており“駒ヶ根に移住して本当に良かった”と大勢の皆様感謝しながら生活を楽しんでいます。



「Iターンセミナー&相談会」開催

参加者11組(13名) / 対応者・石田幹事 大槻幹事

Iターンセミナーに参加して 石田建設㈱ 石田耕一
8月27日銀座にありますふるさと回帰センターのセミナーに参加して参りました。ビルはとても良い場所ですが、外へは看板等が出せないという事で、通りすがりの方は全く入って来ないのが少し残念な気がしました。中には全国各地のブースがあり、駒ヶ根市はかなり積極的だと改めて認識致しました。Iターンされる方々にとって大切なポイントは安全かつ健康的な場所、出来れば山の眺望の良い場所を探しています。定年後の終の棲家を考えている方は、場所さえ気に入ればとんとん拍子に事は進みます。ただ30代、40代の方にとっては仕事が大きなポイントになりますので、そちらのネットワークも更に充実して行かなくてはいけないと思つた次第です。



「ふるさと回帰フェア」に出展

来場者14組(16名) / 対応者・織井幹事 宮協会員(竹花工業㈱)

ふるさと回帰フェアに参加して (有)織井不動産 織井寛之
東京都早稲田大学で9月23日秋分の日で開催されたふるさと回帰フェアに参加させて頂きました。全国40都道府県、約150自治体が参加していました。北海道から鹿児島まで来ていましたが各参加者の熱意に圧倒されました。会場は10時からの開始でしたが想像以上の来場者でした。各自自治体1人でも多くの人を移住させたいという思いを感じることが出来ました。各割り当てのブース以外にも野外で市町村のチラシを配布したり露店を出して地元の名産を一緒にアピールしてたりしました。主催者が400袋用意したお米も午後3時くらいには完全になくなっていました。お祭り騒ぎの中にも真剣さを感じることが出来ました。今後は駒ヶ根市自体がどの程度までやるのか考えさせられるフェアだったと思います。



《今後の予定》

- ・Iターンセミナー&相談会 11月5日 東京銀座
- ・信州駒ヶ根体験ツアー「晩秋」 11月26日 駒ヶ根市内

《編集後記》

今号より移住体験者の声をお聞きするエッセイを掲載していきます。執筆していただける方をぜひご紹介ください。